



こんにちは 日本共産党

清水とし子です

発行・日本共産党日野市議会議員 清水とし子

日野市多摩平4-1-1 (清水事務所)

メール jcpsimi@jcom.zaq.ne.jp

Facebook「清水登志子」で検索

携帯 090-6102-7555、事務所 042-582-1042

横田基地へのオスプレイ配備によって

「安全性が脅かされていることは間違いない」大坪市長

オスプレイの配備をはじめとする横田基地強化によって、墜落・落下事故等の危険性、さらには敵国やテロの標的となる可能性が高まっています。

私は6月議会の一般質問で大坪市長に対して、日野市民の「平和のうちに生存する権利」(平和的生存権)を守るためにも、オスプレイの配備撤回と横田基地強化にNOの声をあげていくことを求めました。

大坪市長は「オスプレイの配備によって危険性が高まってきた」「安全性が脅かされていることは間違いない」との見解を示し、基地に接する5市1町や東京都と連携して「重大な懸念を表明し、しっかりとした安全対策を講じること、説明責任を果たすこと、空の上の危険防止を申し入れることに全力をあげていく」と述べました。

学習会 日野の上空がますます危ない！

～CV22オスプレイの配備と横田基地の強化が進む～

日時 6月16日(土) 午後2時～4時

場所 発達・教育センター エール 旭が丘児童館の隣

講師 小柴 康男 さん 昭島9条の会 資料代 500円

◎オスプレイ最新事情 欠陥の核心はどこに

◎空軍特殊作戦部隊とCV22、横田配備の目的

◎空軍特殊作戦部隊の訓練とは

明らかにした訓練の実態、横田配備後に想定される訓練とは

◎訓練に関する「日米地位協定」の内実

難病以外で人工呼吸器を利用している方へ

自家発電装置助成を

人工呼吸器を使用しながら自宅で療養生活を送る方が増えています。

東日本大震災に伴う計画停電の際、人工呼吸器が停止寸前になるという事例が発生し、東京都は人口呼吸器使用者の実態調査と、自家発電装置の貸与などの対策を講じました。

その後、助成制度は、難病患者に対して

は東京都制度になり、難病以外の方については、区市町村制度へと別れました。

しかし、日野市では助成制度を作っていないため、難病以外の方は助成が受けられなくなってしまいました。

私は6月議会で、難病以外の方のための助成制度を作るよう求めました。

「制度利用の道を開くのは自治体の義務」大坪市長

大坪市長は、日野市は在宅医療等をすすめる地域包括ケアを打ち出している。そのような中で難病以外の理由で人工呼吸器を使用している方々の「制度利用に道を開くのは、自治体の義務である」「金額的な問題も、日野市の体力なら十分できるもの」「市としても導入を真剣に考えていかねばならない」と答弁しました。

早急に制度が実現できるよう、地域みなさんと一緒に、引き続き頑張りたいと思います。



つれづれ日記

毎日、水をもらえなくても
たくましく年を越し
何年も生きのびている
我が家で唯一の鉢植え
月下美人

今年は10個もつぼみをつけた
一日目に2つ
二日目は7ついっぱいの花が咲いた

家中に優雅な香りが漂うなかで
なぜか議会の質問準備
かなしい・・・。

